

お知らせ

5月21日、シテ方観世流能楽師の梅若猶義先生をお招きし、第1回定例研究会を開催しました。

5月21日、シテ方観世流能楽師の梅若猶義先生をお招きし、第1回定例研究会を開催しました。「能の間」と題してご講演いただき、貴重な能面もたくさん見せていただきました。お客さまも、「実物をこんなに近くで見られるなんて！」と興味津々でご覧になっていました。また、代表でお一方が実際にお面をつけて歩いてみられていたのですが、「目の部分の穴が小さいので、視野が非常に狭く、歩くのがこわい、それで自然とすり足になる」とのことでした。



練った水あめのような生地に着色する説明を受けています。